

平成29年度 主な事業の報告

※青少年もがみ第26号掲載以降

1 “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動標語
最上地区優秀作品選考会【9月21日(木) 最上総合支庁】

最上管内の全小・中学校から、合わせて3,912点の応募がありました。選考の結果、次の作品が最優秀・優秀に選ばれました。

- ◇最優秀 「うんとこしょ！」「どっこいしょ！」
みんなでぬこよう いじめの根っこ
最上町立向町小学校 1年 大沼 かなめ 叶夢
- ◇優秀 「平気だよ」 えがおのうらの SOS
舟形町立舟形小学校 4年 八鍬 ののは 希羽
「やめろじゅ！」 言えたあなたに 一等賞！
舟形町立舟形中学校 1年 沼澤 ゆうみ 佑実
見ないふり そんな私は もうやめた
鮭川村立鮭川中学校 2年 八鍬 るな 月

2 最上地区青少年育成推進員研修会
【10月14日(土) 舟形町生涯学習センター】

青少年育成推進員の一層の資質の向上と、相互の交流を深めるため、以下の内容で研修会を行いました。

◇推進員の永年表彰（最上総合支庁長名）

・最上町：渡部 勝義氏 ・最上町：石山 和也氏

◇講演

「県民の期待と信頼に応える
警察を目指して」
講師 南陽警察署長 沼澤 正樹氏
(沼澤氏は、舟形町出身の方です。)



◇今年度の青少年育成活動について報告

3 平成29年度山形県青少年健全育成県民大会
【10月22日(日) 庄内町文化創造館 響ホール】

〔表彰〕

“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の優秀標語・ポスター表彰では、向町小学校の大沼叶夢さんが表彰を受けています。



〔青少年の健全育成セミナー〕

◇講演

演題 「スマホ時代の子どもと向き合う～ Twitter・LINE・スマートフォンの危険性 被害者にも加害者にもならないために～」

講師 全国webカウンセリング協議会
理事長 安川 雅史氏

◇事例検討会

県内各地（村山・最上・置賜・庄内）からそれぞれの活動事例の発表を行い、事例の検討等を行いました。

最上からは、真室川町青少年育成推進員代表の小松功氏が、真室川町で長年行っている「子ども遊び体験天国 えんにち」について事例発表を行い、好評を得ています。

4 最上地区青少年育成懇談会
—生徒と地域の大人の対話会—

【12月9日(土) 新庄市民プラザ】

今年の最上地区青少年育成懇談会には、高校生25名、大人50名、総数75名の方々から参加いただき、テーマの「最上をもっと元気に！」について4グループに分かれ懇談を行いました。

最上をもっと元気にするために、様々なアイデアが出されました。

- ・いろいろな世代が集まれるカフェを作る。
- ・自然を活かしたツアーを企画する。
- ・住んでいる人自らが楽しまないとダメ。
- ・イベントが多いのでネットでもっと紹介する。その際、フェイスブックよりInstagramの方が効果がある。
- ・高校生と大人が一緒になって、地域のあるもの探しをする。参加していただいた方からは、次のような感想をいただいています。
- ・地域に対する意見をたくさん聞いて、とても勉強になりました。自分も地域に貢献したいという気持ちが強くなりました。（高校生）
- ・人それぞれ思っていることがあって、いろいろな話が出て楽しかった。そして、みなさん優しくかったです。（高校生）
- ・高校生が、自分の地域を考えていることがわかりよかった。最上の良い所を見つけないとだめだと感じているようでした。（大人）
- ・高校生の意見が頼もしかった。地域を理解しているし、高い意識がありました。また、高校生が集まれる場所がほしいという事でしたので、応えてあげたい。（大人）



編集後記

この号から、各市町村の青少年育成推進員の方々から活動の様子や所感等を書いていただいている「私の宝もの」のページを増やしました。

自分の時間を割いて様々な青少年育成活動に携わってくださっている方々です。寄せていただいた原稿を読むと、青少年育成は何かと大変だけれども、仲間と一緒にやることや青少年との触れあいが楽しいと思つて活動されているのがわかります。

地道に頑張っている方々の思いを汲み取っていただければ幸いに存じます。

